

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

使用上の注意改訂のお知らせ

血漿分画製剤

献血ヴェノグロブリン®H10%静注

0.5g/5mL, 2.5g/25mL, 5g/50mL, 10g/100mL, 20g/200mL

献血ヴェノグロブリン®H5%静注

5g/100mL

生物学的製剤基準 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン

2026年7月

一般社団法人
〔製造販売元〕 **日本血液製剤機構**

このたび、標記製品につきまして電子化された添付文書の改訂を行いましたのでお知らせいたします。

今後のご使用に際しましてご留意くださいますようお願い申し上げます。

弊機構製品のご使用にあたって副作用・感染症等をご経験の際には、担当MRまで速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

記

■改訂概要

改訂項目	改訂内容
5. 効能又は効果に関連する注意	本剤の投与対象を明確化するための記載整備。

■「使用上の注意」の改訂内容

改訂後（ <u>改訂箇所</u> ）	改訂前
5. 効能又は効果に関連する注意 (略) 〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の運動機能低下の進行抑制〉 5.6 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の患者に対して静注用人免疫グロブリン製剤を投与し筋力低下の改善が認められたものの、症状の再発・再燃を繰り返している患者にのみ投与すること。	5. 効能又は効果に関連する注意 (略) 〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の運動機能低下の進行抑制〉 5.6 「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善」に対する本剤の有効性が認められたものの、症状の再発・再燃を繰り返している患者にのみ投与すること。

<改訂理由>

「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の運動機能低下の進行抑制」に対する本剤の投与対象を明確化するための記載整備を行いました。

- 今回の改訂内容は、「医薬品安全対策情報（Drug Safety Update）」No.347（2026年7月発行）に掲載予定です。
- ここでお知らせした内容は、弊機構ホームページの「医療関係者向け情報」（<https://www.jbpo.or.jp/med/>）でもご覧いただけます。
- 以下のGS1コードを「添文ナビ」で読み取ることでPMDA ホームページに公表されている最新の電子化された添付文書をご確認いただけます。

献血ヴェノグロブリン IH5%静注



(01)14987867279691

献血ヴェノグロブリン IH10%静注



(01)14987867505172

（お問い合わせ先）

一般社団法人

日本血液製剤機構

くすり相談室

専用ダイヤル 0120-853-560
(弊機構営業日の9:00～17:00)

製造販売元

一般社団法人

JB 日本血液製剤機構

東京都港区芝浦3-1-1

JB26-1

2026年7月